

事業番号	02 02 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）			当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域情報化推進事業費（情報政策課分）	部局	企画振興部	課・室	情報政策課			
		実施期間	H24～	E-mail	joho@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)								
8つの重点目標								
総合的に展開する重点政策	3-7 先端技術の積極的な活用・導入							

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	県機関と市町村等を結ぶ高速情報通信ネットワーク（通称：IBN）を、民間通信事業者の専用回線サービスを利用して構築し、各分野の業務システムで利用している。									
	【目指す姿】	・第3期（現行）高速情報通信ネットワークを運営し、安定的な稼働を確保するとともに、幅広い利活用を推進する。 ・第4期高速情報通信ネットワークの調達にあたり、円滑かつ合理的なネットワーク移行と安定的な稼働を行う。									
	【実施内容】	ネットワークサービスを運用									
	指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]										
No		成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
									前年度繰越	0	0
1		基幹回線のインシデント数	0件	1件↘	0件↗	0件	達成		現計予算	142,906	152,812
2									合計(A)	142,906	152,812
3									うち一般財源	133,991	137,761
4									決 算 額(B)	142,345	152,114
								職員数(人)	0.20	0.30	
成果指標設定理由	高速情報通信ネットワークの安定的な稼働を示す指標を設定										
達成状況の分析	必要な利用状況の把握に努め、安定的な稼働を実現した。										

主な取組	✓県機関と市町村等を結ぶ高速情報通信ネットワーク(IBN)の整備、運用
	○第3期(現行)高速情報通信ネットワークの運用 ・安定的な稼働を確保 ・東日本台風を契機にインターネット接続回線を見直し ○第4期高速情報通信ネットワークの構築に向けた検討 【今後のスケジュール】 令和2年度 検討会を開催し、構築内容を検討 令和3年度 構築 令和4年7月 利用開始

高速情報通信ネットワーク（IBN）の概要図

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課 題 等	今後の方向性
	・県機関と市町村等を結ぶ高速情報通信ネットワークであり、常に安定的な稼働が求められている。 ・現行の第3期高速情報通信ネットワークが令和4年6月末で終了するため、次期ネットワークの構築について検討が必要。	・安定的な稼働を継続していく。 ・災害時等も継続的に情報発信が行えるよう、次期ネットワーク構築の検討を行う。

事業番号 02 02 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） ☐当初要求 ☐当初予算案 ☐補正予算案 ☒点検

事業名	地域情報化推進事業費（情報政策課分）	部局	企画振興部	課・室	情報政策課
-----	--------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決 算	R 1 年度 決 算
1	高速情報通信ネットワーク整備事業費		142,345 千円	152,114 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	(第3期) 高速情報通信 ネットワーク整備事業費	委託	ネットワークサービスの運用、インターネット接続回線の見直し 委託先：N T T 東日本（株）	
2	(第4期) 高速情報通信 ネットワーク整備事業費	直接	次期ネットワークの構築について、検討会を開催（2回）	